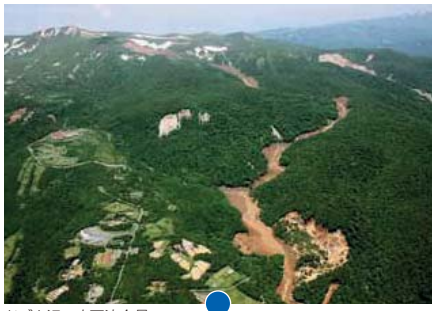
宮城県三迫川上流域

[三迫川・裏沢・ドゾウ沢・柳沢・岩ノ目沢・ハツカミ沢]

地形地質　三迫川上流域は栗駒山南東側の山麓斜面で、地質は軽石凝灰岩の上に溶結凝灰岩が、さらにその上に泥流堆積物・溶結凝灰岩が分布しているのが特徴です。また、栗駒山の火山噴出物が源流域から山麓まで分布しています。

被災状況　ドゾウ沢源頭部で大規模な山腹崩壊が発生し、土石流となって駒の湯温泉付近へ流下・堆積し、さらに下流の行者滝に至るまで流下しました。ハツカミ沢や岩ノ目沢では溶結凝灰岩の分布する渓岸の急斜面で山腹崩壊が多発しています。山腹崩壊箇所は137箇所、不安定土砂発生量は約169万m^{3}です。三迫川本流の放森上流地区と耕英地区を含めると山腹崩壊箇所数199箇所、約801万m^{3}もの不安定土砂量となります。


ドゾウ沢　土石流全景

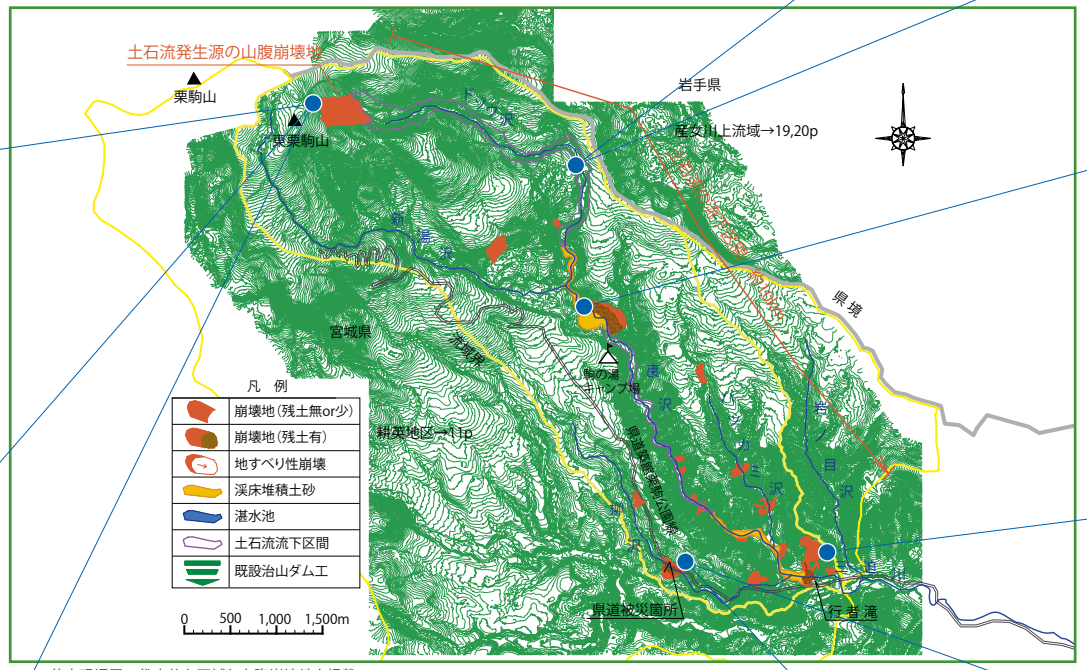
ドゾウ沢　土石流の流下による渓流荒廃状況

ドゾウ沢　土石流発生源となった大規模な山腹崩壊全景と栗駒山頂

ドゾウ沢　土石流により堆積した土砂、駒の湯温泉付近

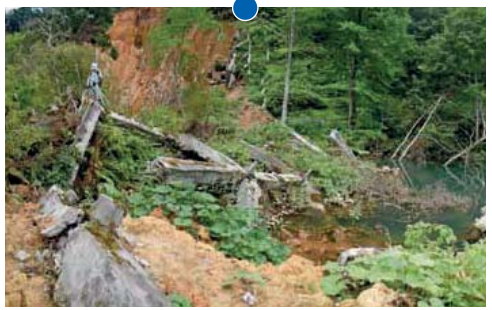
ドゾウ沢　土石流発生源における植生の回復状況

三迫川　行者滝に隣接した山腹崩壊



※荒廃現況図　代表的な区域と山腹崩壊地を掲載

ドゾウ沢　土石流発生源の荒廃状況


柳沢　被災した道路法面と河道閉塞による湛水状況

柳沢　山腹崩壊から流出した土砂による県道被災状況